

2018年度から東京女子大学 現代教養学部の学科・専攻が 変わります <構想中>



Tokyo Woman's Christian University

東京女子大学

▶大きな変化

- ・「国際英語学科」を新設します。
- ・「コミュニティ構想専攻」を国際社会学科に新設します。
- ・「心理・コミュニケーション学科」を新設します。



次の100年に向けて

2018年、東京女子大学は創立100周年を迎えます。この100年間で培ってきた教養教育の実績の上に、時代にふさわしい新たな教育内容や方法を取り入れて、次の100年に向けた教育改革を進めます。そのために現代教養学部の学科・専攻を再編し、それぞれの内容を刷新いたします。

現代教養学部の教育の大きな柱

「専門性をもつ教養人」の育成を課題とする現代教養学部にとっては、学びのスキルを備え幅広い教養を身につけるための全学共通カリキュラムと、専門領域での学びを連動させるための学科・専攻教育の両者の結びつきが、全学的な教育の柱として位置づけられています。この2つの柱は教養教育の基礎として今後も大切に守っていきます。

教育の力点

これからの時代の教育に求められている、国際化や女性という視点を、教育の各分野において重視します。また、実践的な学びを内容的にも方法的にも重要課題として位置付けます。そのために、新たな学科、専攻を設置するとともに、すべての学科・分野において、実践的な学びを取り入れていきます。

学科・専攻の新たな構成

本学の教育目標を時代にふさわしい形で実現するために、専門教育の核である、学科・専攻を再編します。この再編は、これまでの実績を生かしつつ、新たな課題に応えるために行われるものです。

2018年度からの学部・学科・専攻				
学部	学科	専攻	募集人員	入学定員
現代教養学部	国際英語	国際英語	155	155
	人文	哲学	40	200
		日本文学	85	
		歴史文化	75	
	国際社会	国際関係	100	270
		経済学	70	
		社会学	50	
		コミュニティ構想	50	
	心理・コミュニケーション	心理学	80	195
		コミュニケーション	115	
数理科	数学	35	70	
	情報理学	35		

▶国際英語学科（新設）

国際共通語としての英語について、多面的な理解を深め、英語教育や翻訳・通訳などの実践的分野の教育を行います。英語の運用能力に裏打ちされた知見と国際性を生かすことができる女性の育成を目指します。

▶人文学科

哲学、日本文学、歴史文化の3つの専攻からなり、人類の多様な知的遺産について知識を深め、創造的に発信する人文学の学びを通し、文化のあり方に積極的にかかわる力を養います。

▶国際社会学科

国際社会学科は、内容的にも方法的にも実践的な学びを多く取り入れ、現実との接点を重視した社会科学分野の教育を進めてきました。これまでの国際関係、経済学、社会学の3専攻に加えて、よりよいコミュニティの実現に寄与するために「コミュニティ構想専攻」を新設します。

▶心理・コミュニケーション学科（新設）

人間の心理と行動、コミュニケーションについて理解を深め、現代社会に生きる人間を分析し、他者と協働して問題解決していく力を育てます。心理学とコミュニケーションの2専攻があり、コミュニケーション専攻は、多文化コミュニケーション、メディアコミュニケーション、情報デザインを学び、総合的コミュニケーション力を身につける新しい専攻です。

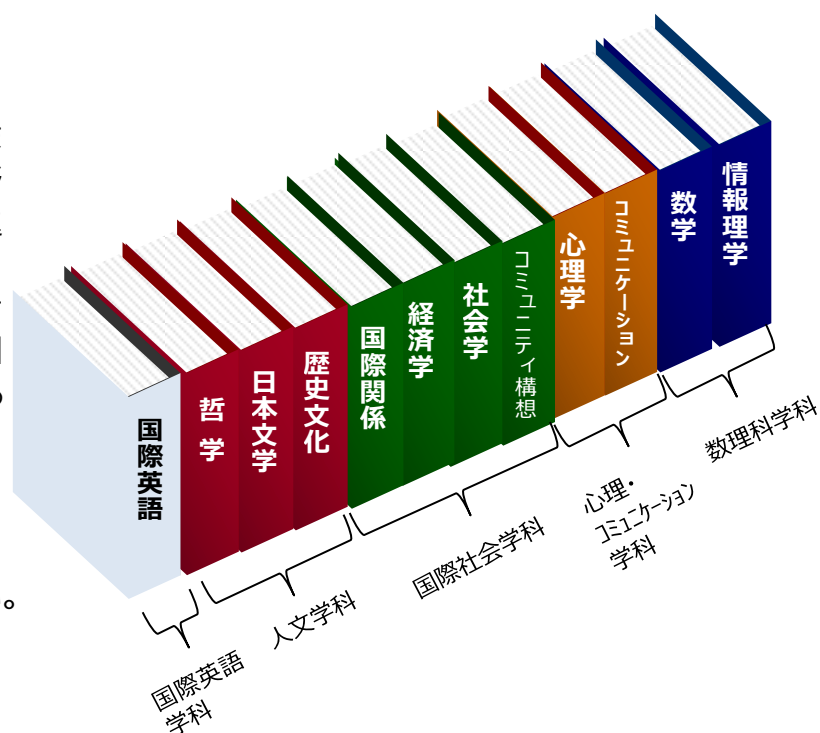
▶数理科学科

数学と情報理学の2専攻があります。数理科学的な考え方や手法を身につけて、シミュレーションの方法を駆使して自然や社会の問題に取り組む力を養います。

全学共通カリキュラム

英語教育と情報処理教育をさらに強化します。受信・発信の能力を高め、幅広い分野から世界と自分を見つめ、グローバル化が進む現代社会で生き抜く力を養います。

女性の自己確立の基盤となる力を身につける総合教養科目やキリスト教学科目、外国語科目、情報処理科目、日本語科目があります。



詳しくは、本学公式サイトをご覧ください。
(7月上旬より)

<http://office.twcu.ac.jp/univ/>